授業改善推進プラン【様式１】

平成２８年度　学力向上を図るための全体計画

檜原村立檜原小学校

○東京都教育委員会教育目標
子どもたちが、知性、感性、道徳心や体力を育み、人間性豊かに成長することを願い、
・互いの人格を尊重し思いやりと規範意識のある人間
・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
・自ら学び考え行動する、個性と想像力豊かな人間
の育成にむけた教育を重視する。
○檜原村教育目標
１．自ら学ぶ檜原の子供（知）
２．明るく素直で、感性豊かな檜原の子供（徳）
３．元気な体をつくる檜原の子供（体）

学校の教育目標
○ 進んで学ぶ子
○ 思いやりのある子
○ たくましく生きる子

○学校、地域の実態　　○地域の期待や願い
○保護者の期待や願い　○期待される児童像
「子供は村の宝」の言葉に表されるように、村民の学校教育への期待は大である。保護者の学校行事等への参加も多く、小中一貫教育への関心も高い。恵まれた自然と落ち着いた地域社会の中で、子供達はおだやか且つ素直に育っている。その中で、愛情と情熱をもって子供たちと向き合う教師、常に学び続ける教師、自信と誇りをもって教育に取り組む教師として、日々の教育活動を行っている。
そこで本校では、進んで取り組みねばり強く積み重ねていける児童、豊かな感性をもち互いに思いやり学び合う児童、自ら健康で丈夫な体づくりに取り組む児童を目指し、確かな学力を身につけ、心身共の健やかに生きる児童の育成を目指す。

【各教科の指導の重点】
※【様式２】　参照

【道徳教育の指導の重点】
・学校生活全ての場で人権尊重教育を推進するとともに社会の一員としての社会性を育てる。
・児童、保護者との信頼関係を深め、いじめや差別に対しては毅然とした態度で指導する。同時に、いじめや差別をした児童の心に迫り、いじめや差別をしない心情的な強さを育てる。
・道徳教育推進教師を中心に授業を計画的に実施するとともに、学習・生活の様々な場面で、道徳的な価値に気付かせ、日常的な道徳指導、生き方指導を実践していく。また、道徳授業地区公開講座等をより充実させ、学校、家庭や地域社会が一体となって児童の道徳性を高めていく。

【総合的な学習の指導の重点】
・各教科、道徳、特別活動で培った知識、心情、社会性等を有機的に結び付けた学習を実践し、自ら課題を見付け、探究的な活動を通して課題解決する資質や能力を育成していく。
・地域人材を活用して檜原の自然や伝統文化等の教材化を進め、檜原の地域の自然や文化のよさを学ぶ機会を設定する。
・檜原の豊かな自然に触れることを通して、環境を守ろうとする意欲を育んでいく。
・国際理解教育の一環として外国語活動を３・４年生は月１回実施する。
・他校との交流学習を通して他地域に目を向け、自然環境や生活・考え方の違いを知って視野を広げる。また、自らのよさや課題に気付かせるとともに表現力やコミュニケーション能力を高める。

学校経営方針（授業改善推進上の要点）
確かな学力を身につけ、心身共に健やかに生きる児童の育成
・基礎的・基本的な学力の定着
・言語事項・計算の習熟
・学習習慣の確立
・Ｔ．Ｔ.、少人数指導の充実
・小中９年間の系統的指導
・思考力･判断力･表現力を伸ばす指導

本校における学力観（「確かな学力」を図るために）
・檜原村の小中一貫教育の公教育９年間を見据えた各教科年間指導計画評価計画の下に、確かな学力の向上を図る。
・学力向上を図る調査、同意識調査等を参考に授業改善推進プランを作成して、児童一人一人の実態に的確に対応しながら適切な支援を行い、自主的・主体的に学ぶ意欲と考える力を育成するために、習得、活用、探究を図る問題解決学習の積極的な導入を行う。
・1単位時間の授業のねらいを明確にして、児童に学習のめあてをもたせるとともに、学習の終わりには授業を振り返らせる機会を設け、基礎的・基本的な学力の定着を図る。
・３～６年で算数の少人数指導の充実を図り、児童一人一人にきめ細かな支援を行う。また、音楽・図工・家庭・体育を中学校教諭とのＴＴ授業で実施する。
・読書指導においては、村立図書館と連携した読み聞かせを中心とした取組を月１回実施する。
・個に即した補充・発展学習を週２回、外部指導員を活用して行う。
・各学期初めに個々の家庭での生活リズム表の作成を通して、家庭と連携して学習習慣の確立を図る。
・自主的に学ぶ意欲を引き出すとともに、主体的に考える力の育成を図るため、小中合同の学園全体会等を通して研修に努めるとともに、互いに研鑽し合い授業力の向上を図る。
・校内研究授業研究部会で中学校教諭と連携しながら、各教科の年間指導計画の見直しや授業研究等を通して、9年間の指導の在り方を追究するとともに互いの授業力向上の機会とする。
・児童のよさや変容を確実に見取り、認めることで、児童自身によさや変容を自覚させ自信につなげていく。
・各教科の学習のねらいを達成するために、言語活動を積極的に取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成する。
・小保連携をし、小一プロブレムの解消を図る。

【キャリア教育の指導の重点】
・一人一人の児童を認め励ますことによって自他のよさに気付かせ、互いに認め合い、自分の将来に対して夢や希望をもって、将来の生き方を考えようとする態度を育む。
・啓発的体験学習を重視し、地域社会と連携した教育や体験活動を実施する。。
・９年間を通じて組織的・計画的・継続的なキャリア教育を行う。

【特別活動の指導の重点】
・縦割り班の活動、保育園児や中学生、高齢者との交流、他地域の学校との交流、校外学習における外部講師との交流等を通して社会性をはぐくむ。
・学級の一人一人が尊重し合い、協力し合う温かい学級づくりに努める。
・学校行事等の諸活動に積極的に取り組み、自らの願いを実現させるために、粘り強く取り組むたくましさを身に付け、達成感や成就感を味わう経験を積ませることを通して自己有用感や自尊感情をはぐくむ。

【生活指導・進路指導の重点】
・生活習慣を常に意識、見直しをさせ、正しいリズム、規律ある生活を送ることで自主性・自立性の伸長を図る。
・児童の実態を的確に把握し、生活指導朝会で全教職員の共通理解を図り、課題に対して連携して迅速で適切な対応をしていく。
・朝の会、帰りの会等を通して、問題行動に対する即時的な指導を行い、危機を回避・解消する能力を育んでいく。
・児童理解の時間を週１回、生活指導全体会の場を学期１回設定し、情報交換して共通理解を深める。また、関係諸機関との連携を図りながら保護者や中学校との連携も密に行い、指導の一貫性を確保するとともに指導内容の充実を図る。
・生活指導朝会、生活指導全体会、職員会議等で共通理解を図り、全職員が協力して指導を行う。またスクールカウンセラーと連携し、効果的な支援を行う。
・交通安全教室とセーフティ教室を実施し、安全指導を充実させることで、交通事故や非行・犯罪・不審者から身を守る指導、薬物乱用防止、情報モラル指導を徹底し、日常生活の中での実践を通して安全対策の習慣化を図る。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導内容・指導方法の工夫	評価活動の工夫	校内研究や校内研修の工夫	家庭・地域との連携の工夫
○カリキュラム・マネジメント PDCA の確立、教科横断的な視点、外部人材活用 ○基礎的学習内容の定着率向上 ○習熟学習と意味理解学習の時間確保 ・複数指導体制の確立 ○めあてを明確にした体験活動の充実 ・年間指導計画への明確な位置付け ・事前、事後指導の充実 ○発表の場の確保と工夫 ・学習発表会 ・朝会での各種発表 ・音楽集会 ・群読発表会 ○読書週間の充実 ・読書習慣を定着させるために期間や取り組ませ方等を工夫 ○漢字検定での合格率向上	○アクティブ・ラーニングの充実 ・主体的で対話的な学びによる深い学びのある指導 ○少人数指導の充実 ・習熟度別指導の実施 ・形態別ＴＴ・少人数指導年間計画の作成 ○課題解決学習の積極的な導入 ○各教科のねらいを達成するための言語活動の工夫 ○全校体制で系統的・継続的に取り組む指導の充実 ・児童が主体的に学ぶ指導 ・思考力を高める読解の指導 ○授業時間内における補充・発展学習の充実 ○学習支援者の導入 ・外部講師・支援者 ○放課後を利用した補充学習教室の継続的な実施 ○小中連携による指導法の工夫 ・外国語教育の充実 ・指導交流、連携授業の充実	○PDCA サイクルの確立 ・めあてと振り返りを重視 ・評価規準に則った評価の実施と指導計画の作成 ・指導と評価の一体化 ○いつ、どこで、何を使って評価するのかを明確に位置付ける。 ○評価を生かした個別指導の充実 ○個別学習カード ○ワークシート ○児童による学習評価の実施 ○次のめあてを明確にするための自己評価 ・互いを伸ばす相互評価 ○ミニテストを使った段階的な学習面の見取り	○授業を見合う積極的なＯＪＴ交流 ○児童の実態把握と活用 ・学力診断テストの実施（２～６年） ・都学力向上を図るための調査（５年） ・全国学力・学習状況調査（６年） ○校内研、郡小教研における研究授業の充実 ○主体的に学ぶ児童の育成 ・意欲を高める学級課題、指導方法の工夫 ・振り返りと次への活用を意識的に行う ○体験を取り入れ、生活に生かす学習の創造 ・めあてを明確にし、具体的操作や活動を重視 ・実技研修の実施 ○多様な問題解決方法を身に付けさせる指導の工夫 ・課題別学習 ・習熟度別学習 ○言語能力の向上を目指した読書活動や書き表す活動の工夫	○児童の基本的生活習慣、生活リズムの確立についての家庭への啓発 ○家庭へ読書習慣定着にむけて呼びかけ ○家庭学習の啓発 ・家庭学習プリント ・学校、学年だより ・保護者会等 ○地区訪問の実施 ・長期休業中における地区別学習会の実施 ○外部評価の実施 ・地域、保護者の学習面における願いや評価の把握 ○校外学習の工夫 ・檜原村を素材とした校外学習の実施